

青森県弘前市における森林環境譲与税の活用について

■ 活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末 時点の活用率	未執行額の 活用方針
活用額（円）	161,395,698	35,613,277	197,008,975	84 %	経営管理の委託希望 があった私有林の 森林整備に活用する （約1,400ha）
譲与額（円）	188,024,250	46,640,533	234,664,783		
うち譲与	188,023,000	46,640,000	234,663,000		
うち利息等	1,250	533	1,783		

■ 令和7年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容 等
			うち森林環境譲与税	
森林整備	私有林整備	25,703,164	25,703,164	航空レーザ解析業務、集積計画作成業務 等
人材育成	人材育成	0	0	
木材利用	木材の普及啓発	9,910,113	9,910,113	森林等普及啓発推進業務（植樹祭開催） 等
基金積立		11,026,723	11,026,723	利子（533円）を含まない
合 計		46,640,000	46,640,000	

■ 今後の実施予定

(1) 森林整備

- 令和元～6年度 森林所有者への意向調査（委託希望有：約1,400ha）
試行的な森林整備（鬼沢・笹舘地区：約6ha）
森林現況調査、森林資源の航空レーザ計測 等
- 令和7年度以降 整備効果や収益性を考慮し、本格的な森林整備を実施
 - ① R7-8年度 森林整備（坂元・百沢地区：約36ha）
 - ② R8-9年度 森林整備（紙漉沢・水木在家地区：約58ha）

※ R8.9
時点見込

(2) 人材育成・木材の普及啓発

伐期が到来した市有林について、行政が造林して終わりではなく、市民や関係機関を巻き込んだ「体験型コンテンツ」として捉え、森林整備に関する機運醸成を図っている。

【開催日時】令和7年10月4日(土) 9時-12時

【開催場所】相馬地区 ※ 参考としてR7実績を記載

【参 加 者】市内の小中学生・保護者約130名

市民植樹祭 SHIMIN SHOKUJUSAI



令和 7 年度 森林環境譲与税の使途内訳

(森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第3項に基づく公表)

令和 7 年度 森林環境譲与税による歳入額 46,640 千円

業務名など	区分	事業総額 (円)	事業内容
航空レーザ解析業務	森林整備	21,467,600	過年度に実施した市内の森林資源（森林の樹木や地形等）の航空レーザスキャナによる計測データを解析して、森林経営管理制度の運営に使用します。
森林等普及啓発推進業務	木材利用	9,808,000	森林での植樹体験等をはじめとした市民植樹祭を開催し、森林や林業への理解を深め、市民と行政が協働でSDGsの達成に取り組む意識の醸成を図るための費用です。
森林経営管理集積計画作成業務	森林整備	2,200,000	森林所有者による手入れが行き届いてない森林について、市が委託を受け経営管理を行う「森林経営管理事業」を実施するにあたり、対象森林の植生調査、立木調査、整備費用等の算出を経て、「経営管理権集積計画」を策定するための費用です。
森林経営管理事業運営費	森林整備	1,472,750	事業を進めるために必要な資材の購入や、システムの賃貸借などに充当する費用です。
タブレットシステム保守業務	森林整備	330,000	林地台帳システムを屋外で閲覧する際に使うタブレット端末の保守を行うものです。
森林・山村多面的機能発揮対策交付金	森林整備	232,814	地域住民や里山林所有者などが協力し合って行う里山林の保全管理や資源活用に係る活動に対して、経費の一部を支援するものです。
森林環境推進事業費補助金	木材利用	102,113	個人や法人が実施する森林整備を担う人材の育成や確保、木材利用の促進に関する取組などに対して、経費の一部を補助するものです。
合計		35,613,277	残額（46,640,000－35,613,277＝11,026,723円）は、今後の森林経営管理事業の整備費用に活用するため、基金に積み立てします。